



平成24年度 ヒートアイランド対策事業
みどりのカーテン市民モニター取組結果



平成25年3月

茨木市産業環境部環境政策課





みどりのカーテン実績報告書



1 事業概要

本市では平成 21 年度から、ヒートアイランド現象を緩和するために、有効とされるみどりのカーテンの効果を検証しており、ゴーヤによるみどりのカーテンの育成に取り組める方を、市民モニターとして募集し、観察記録等を提出していただいています。

本報告書は、平成 24 年度に実施したみどりのカーテン事業の取組の結果をまとめたものです。

2 取組内容

(1) 市民モニター募集概要

募集人数	50 人及び 5 事業者
募集期間	平成 24 年 4 月 4 日から 4 月 10 日
募集方法	4 月号の広報誌、ホームページに募集案内を掲載し、電話で募集。
応募条件	市内在住者のうち、次の要件全てに該当すること ・ゴーヤなどの植物を育てるスペース(北側以外)があること ・観察記録表の提出に協力可能であること ・説明会に参加できること
モニター内訳	市民モニター 54 人、事業者 3 団体

(2) 説明会概要

説明会日時	平成 24 年 4 月 26 日(木) 午前 9 時 30 分～11 時 00 分、午後 4 時～5 時 30 分
場所	市役所南館 10 階大会議室
対象	市民モニター及びみどりのカーテンに興味がある方
内容	・みどりのカーテンの育成について ・市民モニター制度の説明について
講師	大阪府地球温暖化防止活動推進員 村瀬 径介さん
配布物	ゴーヤの苗(4 株)、モニターの手引き、観察記録表、温度計(要返却)、環境家計簿、ただし、ゴーヤの苗及び温度計は市民モニターの方のみ

(3) モニタリングの方法

月に 2 回程度、カーテンの様子や写真、天気、室外温度、室内温度(みどりのカーテンがある部屋、カーテンがある部屋、カーテンのない部屋)、エアコンの使用有無、電気使用量を記入していただいた観察記録表と、アンケートを平成 24 年 10 月に提出していただきました。



3 取組事例紹介

市民モニターの取組事例を紹介します。

①Aさん宅



6月11日(月) 天気:曇
室外気温:28℃ 室内気温:27.5℃



7月15日(日) 天気:晴
室外気温:33℃ 室内気温:30℃



8月16日(木) 天気:晴
室外気温:34℃ 室内気温:32℃

○工夫した点

- ・琉球アサガオの苗を間に植えたので、9月になっても緑のカーテンが出来ていた。
- ・親ヅルの摘芯をして、子ヅルをたくさん育て、ゴーヤが縦方向だけでなく横方向(斜め)に伸びるようにした。

○感想

- ・市主催の説明会において、お勧めの肥料等を教えてもらったので、例年に比べてゴーヤの育ちも収穫も非常に早くなった。

②Bさん宅



6月3日(日) 天気:曇
室外気温:24℃ 室内気温:25℃



7月1日(日) 天気:雨
室外気温:24.5℃ 室内気温:27.1℃



8月4日(土) 天気:晴
室外気温:36℃ 室内気温:33℃

○工夫した点

- ・大きな鉢に苗1本で育てた。
- ・朝、晩にたっぷりと水をあげた。
- ・エアコンの排水をバケツに溜めて、水やりに使用した。

○感想

- ・大変楽しく夏を過ごすことが出来た。観察記録を書くのも楽しかった。ゴーヤにもいくつかの品種がある事も知り、来年は何をそだてようかと、今から楽しみにしている。
- ・家族や近所の話題になったり、食事のバラエティが増えるなど、とてもよかった。



みどりのカーテン実績報告書



③Cさん宅



6月14日(木) 天気:晴
室外気温:28℃ 室内気温:26℃



7月16日(月) 天気:晴
室外気温:31℃ 室内気温:28℃



7月22日(日) 天気:曇
室外気温:30℃ 室内気温:28℃

○工夫した点

- ・布団を干す場所を確保しつつ、出来るだけ日が当たるようにと、百円均一で買ってきた、すのことタイヤを組み合わせ、プランターを移動できるようにした。
- ・1週間に一度追肥を実施している。また、自己流で受粉をする。

○感想

- ・緑のカーテンがある部屋とない部屋の温度差はそれほどなかったが、緑のカーテンがあると窓をあけるのが楽しみになり、気持ちが爽やかになりました。

④Dさん宅



6月17日(日) 天気:晴
室外気温:29℃ 室内気温:27.5℃



7月28日(土) 天気:晴
室外気温:36℃ 室内気温:32℃



8月25日(土) 天気:晴
室外気温:34.5℃ 室内気温:32℃

○工夫した点

- ・ベランダにプランターを直置きせず、熱を逃がすため、植木鉢やレンガを使って高くした。
- ・突っぱり式のポール物干し用竿にネットを張った
- ・パソコン等で緑のカーテンの育て方を調べた。

○大変だった点

- ・虫が増えたこと
- ・花がらが毎日多く落ちるため掃除が大変

○その他ご意見等

- ・苗をもう少し多くほしい。
- ・土、肥料、プランター、ネットなど格安で販売したらどうか。



4 取組結果

(1) みどりのカーテンの効果（取組んでよかったこと）

- ・緑が増えて、目を休められる、心が和むなど癒しが得られた。
- ・窓を開けてみどりのカーテンを見るのが楽しい。
- ・水やりは大変だが、日に日に成長していく姿を見て癒され、愛着が湧いてきた。
- ・ゴーヤを毎日食べていたから、夏バテせずに元気に過ごせた。
- ・植物を育て、実を収穫できる喜びが得られた。
- ・実がなるので、こどもの食育という面で有意義だった。・・・など

(2) 工夫した点

- ・雌花が咲いた時に雄花の花粉をつけるようにするとよく実がなった。
- ・水はお風呂の残り水を利用する。・・・など

(3) みどりのカーテンに取り組んで大変だったこと。

- ・ゴーヤには水やりが大切だということで、朝晩の水やりが大変だった。
- ・実を収穫するタイミングが難しい。黄色になると、実がはじけてしまい、景観を損ねてしまう。
- ・葉が落ちると掃除が大変だった。・・・など

(4) まとめ

- ・市民モニターの多くの方が、しっかりとしたみどりのカーテンになるまで育てている。
- ・朝晩の水やりや追肥をするなど、説明会の資料に掲載していることを実施すること、また、あさがおなど他の植物と一緒に育てている家庭のほうが、よりしっかりとしたみどりのカーテンを育てることにつながっている。
- ・みどりのカーテンのおかげで涼しくなり、電気使用量が減ったという意見と、電気使用量はあまり変わらなかったという意見の両方があった。しかし、電気使用量はあまり変わらないが、緑が多くて癒される、気分的には涼しいなどの声が多くあった。
- ・ゴーヤの実を収穫できたモニターの方も多く、中には100本以上を収穫されたモニターもあり、これをきっかけに来年度もみどりのカーテンに取り組みたいといった意見が多かった。

以上のような感想や工夫した点を次年度以降の市民モニターなどに伝え、みどりのカーテンを育てるのに役立ててもらうことで、引き続きみどりのカーテンの普及に努めていく。